

町村に伺いました

訪問の様子とトピックスを随時お伝えしていきます。
更新をご期待ください。

-町村の皆さんからお話を伺いました- No.5

鹿追町役場



ロビーの相談ブース →

R2.6.3
町として、自立支援協議会の障がい者・児の部会が隔月で開催され、関係機関の意見交換や疎通を取りやすい枠組みがある様です。また「ブルーTシャツ運動」という発達障がいに関する町独自の啓発活動についての状況等も伺いました。町内の対象者については個別の状況に応じて、計画相談・基本相談の体制が整えられている様です。限られた社会資源での活動から、次の展開をどう考えるかについて、役場の他部署と基礎情報を集め始めているといったお話を聞くことができました。

福祉課長補佐兼福祉町民相談係長の西垣さん、
福祉町民相談係主任の藤本さんにご対応いただきました



もみじ工房



R2.6.3
もみじ工房を利用されている方は、グループホーム入居者や地域住民が占めていることから、コロナウイルス感染拡大防止の取組みに関し、小さい町ならではの関係性の元、皆で支え合いながら日中活動や生活を過ごされたとお話を伺いました。また、地域活動支援センターの活動からつながり、役場や町内企業等とのやり取りを進めながら一般就労をされた方の事例もお聞きし、機関の連携次第で様々な可能性の広がりを感じる事が出来ました。

支援員の森内さんにご対応いただきました



浅野青果株式会社



R2.6.3
鹿追町の企業として、ここ数年障がいをお持ちの方への雇用について関心を持ち、「雇用促進・就労定着プロジェクト」の一員としてもご協力いただいている、浅野青果株式会社の工場に訪問させていただきました。町づくりの視点を持つ中で、地域に根づいた文化を守りながら事業として考えるアイデアや、町内の行政や福祉団体と協力し合える構想を、様々な会議の場で発信している金子さんのバイタリティあふれるお話を伺うことができました。

工場長 金子さんにご対応いただきました



芽室町役場

R2.6.3



障がいをお持ちの方への就労支援について、町独自に様々な制度設計を他の市町村に先駆けて実施している自治体という印象を受けました。職場体験や職場実習の仕組みの企画と実施・就労継続支援 A 型事業所誘致の取り組み、その後の企業就労への方向性を定めるために、新たなプロジェクトを立ち上げる動き等を行う中で効果と課題が見えてきたようです。今後取り組みを整理しながら、より良い活動に変化していきそうな期待が高まる打ち合わせとなりました。

障がい福祉係 係長の矢野さん、
同じく主事の赤坂さんにご対応いただきました



今回は、鹿追・芽室方面へ伺いました。

訪問時期が6月に入った事もあり、コロナウイルス感染拡大防止のための取り組みや配慮事項について、注意を払いつつも、新しい生活様式にシフトしていく雰囲気になってきている印象を受けました。決して楽観的にはならず、今できることを前向きに取り組む方法について考えているところも多く、当センターの訪問についても好意的に受け入れていただけている事に感謝しております。

鹿追町のもみじ工房さんでは、町内に障がい福祉サービスが無い中で、求められる役割や希望されている対象者への関わりについて、地域ニーズを役場や関係機関と再度把握し、他町村の先行事例を参考にしながら、今後の方向性について検討する必要があるそうといったお話を伺うことが出来ました。

町村によっては、訪問事業所数の兼ね合いから、複数回に分けて訪問させていただくことにしております。また近々皆様の町村に伺うこともあると思います。その際は快くお引き受け頂ければ幸いです。